

各書店 金沢の本 郷土史・昔話・方言 ご担当者様

いつもたいへんお世話になっております。12月中旬の新刊〈金沢の本〉のご案内です。

何とぞよろしくご注文くださいますようお願いいたします。\*すべての取次からご注文が可能です（JRC 経由）

発売 港の人 〒248-0014 神奈川県鎌倉市由比が浜 3-11-49 電話 0467-60-1374 FAX0467-60-1375

## 金沢の珍しい昔話、加賀方言、わらべ唄、郷土料理 / 12月中旬発売

鈴木雅子著（金沢郷土史研究者）

# 金沢の昔話と暮し、ならわし 『冬夜物語』の世界

ISBN978-4-89629-276-3 A5判 / 並製本 / 224頁 / 定価 1944円（本体 1800円 + 税）

- ◎『冬夜物語』は「なまけ者の話」「意地悪婆の報い」「蛙の嫁さん」「猿の鞆丸ぬらいても お地蔵さんの鞆丸ぬらさん」など、武士の家庭で伝えられたユーモラスな昔話（15話）をおさめた。本書は、加賀方言が豊かにある本文を翻刻し、丁寧にわかりやすく解説した。カラー挿絵付き。
- ◎さらに金沢の町にのこされた明治の昔話やわらべ唄、となえ言葉、諺などをまとめる。当時の人々の暮し、風習、風俗、郷土料理を知る貴重な記録である。
- ◎金沢を愛する人々の、金沢をもっと深く知るための愛読書。

### ■目次

第一部 天保生れのおばあさんの昔話『冬夜物語』 / 一、天保生れのおばあさんの昔話『冬夜物語』 / 二、この本の生れる背景——森田家の系譜 / 三、各説話のあらすじと特徴 / 第二部 明治生れのおばあさんの昔話 / 四、明治生れのおばあさんのこと / 五、明治生れのおばあさんの昔話 / 六、各説話のあらすじと特徴 / 第三部 金沢の暮し・ならわし・わらべ唄など / 七、明治のわらべ唄・はやり唄・となえ言葉など / 八、金沢の風習、しきたり / 九、明治の暮し。学校・遊び・食べ物その他 / 十、方言いくつか / 第四部 文久生れのおじいさんの日記から / 十一、明治・大正時代の珍しかった「もの」たち / 附 引用・参考とした古書

著者紹介 / 鈴木雅子（すずき・まさこ）

1928年東京生まれ。石川郷土史学会会員。江戸時代の言葉を研究する一方、故郷金沢に伝わる昔話や加賀方言などを丹念に掘り起こし、郷土史に力を注ぐ。著書に、『金沢のふしぎな話「咄随筆」の世界』『金沢のふしぎな話Ⅱ「続咄随筆」の世界』（いずれも港の人）など。

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	港の人 電話 0467-60-1374 FAX0467-60-1375
		冊	金沢の昔話と暮し、ならわし 『冬夜物語』の世界 鈴木雅子著 A5判 / 並製本 / 224頁 定価 1944円（本体 1800円 + 税）
			ISBN978-4-89629-276-3 C0095 ¥1800E

ご注文は JRC へ FAX 03-3294-2177

\*返品条件付き注文扱い